



「読書の秋」「食欲の秋」「運動の秋」「学びの秋」・・・ 子どもたちの生活と学習について

晩秋の11月を迎える季節となりました。綿向山の木々も少しずつ色づき始め、子どもたちの全校登山の頃には美しい風景が見られることを期待しています。

さて、秋は「読書の秋」「食欲の秋」「運動の秋」そして、「学びの秋」と言われます。一年の中で最も過ごしやすい季節であり、この時期の頑張りが多くの実りに繋がっていきます。そこで、今回は「学びの秋」について少し考えてみたいと思います。毎年4月に実施される全国学力・学習状況調査の結果も踏まえながら4つのポイントを挙げてみます。

ポイント①

「早寝・早起き・朝ごはん」を大切に!!

体の成長にも、学習や運動にとっても「早寝・早起き・朝ごはん」は絶対に必要な生活習慣です。西大路小学校の子どもたちは、ほとんどの子がこの習慣を身につけていますが、最近少し気になるのが「早寝」です。子どもたちの中には寝る時間が遅くなったり、不規則になったりしている子どもがあるようです。体や脳の成長ホルモンは、一般的に午後10時から午前2時ごろに出ると言われています。つまり、夜の10時には寝付いていることが大切なのです。また、昼間、学習したことは夜、寝ている間に脳に定着するとも言われています。このようなことから、「早寝」は生活習慣というだけでなく、学習にとっても大切な習慣です。子どもたち全員が、しっかりと寝て、朝ごはんをエネルギーを蓄え、1日のスタートが切れるようご家庭でもご協力をお願いします。

ポイント②

基礎基本の学習を繰り返ししよう!!

足し算、引き算、分数、少数、九九・・・これらは算数の基礎基本です。学力調査の結果では、西大路小の子どもたちは全体としてはしっかりと力をつけています。しかし、個人差があったり、意外なところでつまづいている様子も見られまし

た。例えば、四則の混じった計算や図形、また、漢字の書きなどです。これらは繰り返し学習することで一定の力をつけることができる基礎基本です。まずは、どの教科も基礎基本を大切に学習を積み重ねることが大切です。

ポイント③

自主的な家庭学習の時間をつくろう!!

西大路小学校の子どもたちは、ほとんどが宿題を家でしっかりとやってきます。しかし、少しずつ宿題の取り組み方にも個人差が出てきています。宿題の多くは、基礎基本の繰り返しや授業の復習です。また、チャレンジノートを使った自主勉強は中学校進学を見越した習慣づくりです。計算ドリルでもよし、漢字でもよし、社会や理科の調べ物でもよし、宿題以外に少しずつ自分で学習する時間を是非ともつくって欲しいと思います。「自ら頑張る力」は、学習以外の所でも大切な力となって発揮されます。

ポイント④

「いろいろなことに興味を持とう!!」

将来に向け、今、子どもたちの学力で求められているのが「自分の考えを持つ」「友だちと考えを交流する」「さらに自分の考えを見直す」という力です。そのためには、日常的に友だちや家族と話をしたり、読書をしたり、社会や身の回りの出来事に興味を持つことが大切になってきます。全国学力・学習状況調査では、西大路小学校の子どもたちは家庭で学校のことを話したり、地域の行事に参加する子どもが多いという結果が出ている反面、新聞を読んだり、社会で起こっている出来事に興味が高いという結果も出ています。これらのことは、授業だけでなく、日常的に学校や家庭で大人が話題として投げかけることで関心が芽生え、視野が広がっていくものかもしれません。是非とも、身近な話題で子どもたちと会話をする機会をつくっていただけるとありがたいです。(校長 深井 実)

お疲れ様でした!!! サイクル活動!!

雨が少し心配された10月14日は、PTAリサイクル活動でしたが、環境福祉部の方々を始めとして多くの皆様のご協力が無事終了することができました。天候も何とか持ちこたえ、古新聞や雑誌、アルミ缶など多くの回収物が集まりました。8時過ぎから、軽トラックや自家用車で続々と運び込まれて来る回収物を親子で車から降ろし、コンテナやパッカー車に運んでくださる様子はとても微笑ましい風景でした。特に、子どもたちがお家の人と話をしながら一生懸命に仕事をする姿は西大路小学校のPTA活動の素晴らしい所だと思います。子どもたちの中には、自分から仕事を見つけ、新聞をコンテナに積んだり、段ボールをパッカー車に入れたりする子どももあり感心させられました。お疲れ様でした。



